

2026年(令和8年)

2/2 月  
第22603号

日刊(土曜・日曜・祝日休刊)  
昭和17年12月28日第3種郵便物認可

(1)

- 2 レベル4で内航自動運航
- 3 次期物流大綱、提言案提示
- 2 商船三井がPSAと合併
- 3 北米・欧州とも下落基調
- 5 【海事データ】 定航・港湾

### クミアイ・ナビ

# 210型B/C2隻発注

## DACKSで29年竣工

くみあい船舶(本社・東京都)グループのシンガポール船主クミアイ・ナビゲーション(KN)が21万重量トン級ニューカッスルマックスバルカー2隻を新造発注した。川崎重工グループの中国合弁造船所DACKS(大連大連中遠海運川崎造船工程)で2029年の竣工を予定。スクラバー(排ガス浄化装置)と従来燃料仕様の主機関を搭載する。KN社のニューカッスルマックス新造整備は竣工ペースで9年ぶりとなる。

KN社は1995年日本船主のくみあい船舶(本社・東京都千代田区)100%出資のシンガポール子会社として発足。現在、VLGC(大型トラマックス1隻(28年納期)を確保している。

LPG(液化石油ガス)船9隻、ニューカッスルマックスからウルトラマックスまでのバルカー8隻、小型LPG船2隻を保有。新造発注は今回の2隻のほか川重にVLGC2隻(26年納期)、NACKSにウルトラマックス1隻(28年納期)を確保している。

「最近のドライ市場では中国や欧州企業によるニューカッスルマックスの新造発注が増加している。」

### 「NCマックス勝算あり」

「船価的にはまだ高いという感覚はあるが、造船所も頑張ってくれているので、そこは船主として知恵を絞って、頑張る発注すべきだと考えた。幸い良い値段で既存船を処分できたので、資金面も含めて総合的には満足している。」



黒柳智丸マネジングダイレクター(写真)に発注方針を聞いた。

「今回の新造船2隻はスクラバーと従来燃料仕様のエンジンを搭載する。発注に踏み切った背景について、燃料選択の考え方を聞いてみたい。」

「もう十年近く新燃料担も含めて方向性を示していただいた。ただ難しいからといって、いつまでも何もしないで様子見では経営者失格になる。今回は当社のフリート構成を考慮しつつ、若手の意見を尊重した。本船が処分を迎える頃には私がおそらくいないので、責任を取ることができない。その観点から、若手に自覚を持ってもらいたいという考えで、意見を尊重した。」

「ニューカッスルマックスに関しては世界全体の船舶構成、発注残から見て底堅いと考えている。ギニアのシマンドゥア鉄鉱山の稼働もプラスで、主戦はニューキャッスルマックスだと思っその半面、中国頼みのマーケットではあるのだが、当社はマーケットが暴落したとしても数年は問題なく耐えられる体力があり、十分勝算はあると考えている。」

新造船2隻のうち1隻は「信頼できる用船者」(KN社の黒柳智丸マネジングダイレクター)と7年間の用船契約が決められている。

KN社は1995年日本船主のくみあい船舶(本社・東京都千代田区)100%出資のシンガポール子会社として発足。現在、VLGC(大型トラマックス1隻(28年納期)を確保している。

LPG(液化石油ガス)船9隻、ニューカッスルマックスからウルトラマックスまでのバルカー8隻、小型LPG船2隻を保有。新造発注は今回の2隻のほか川重にVLGC2隻(26年納期)、NACKSにウルトラマックス1隻(28年納期)を確保している。

「最近のドライ市場では中国や欧州企業によるニューカッスルマックスの新造発注が増加している。」

「ニューカッスルマックスに関しては世界全体の船舶構成、発注残から見て底堅いと考えている。ギニアのシマンドゥア鉄鉱山の稼働もプラスで、主戦はニューキャッスルマックスだと思っその半面、中国頼みのマーケットではあるのだが、当社はマーケットが暴落したとしても数年は問題なく耐えられる体力があり、十分勝算はあると考えている。」